



● 干潟再生海域

三重県志摩市阿児町立神石淵2445-2

【交通のご案内】

- 近鉄
志摩線「鵜方駅」下車
- 三重交通バス
御座港行「立神口」下車徒歩15分、



● 三重県水産研究所（担当機関）

〒514-0404
三重県志摩市浜島町浜島3564-3
水産研究所 水圏環境研究課
電話 0599-53-0016, FAX 0599-53-2225
URL: <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/SUI/>

【交通のご案内】

- 近鉄
志摩線「鵜方駅」下車
- 三重交通バス
浜島港行「浜島港」下車徒歩3分、
または宿浦行「朝日山」下車徒歩20分

みんなのちからで取り戻そう！「里海」英虞湾を！



JST 実装支援事業

英虞湾の環境再生へ向けた 住民参加型の干潟再生体制の構築

豊かな生き物が生息する「干潟・藻場」の再生

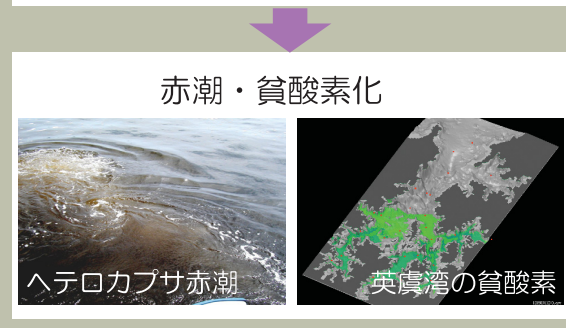


三重県水産研究所

英虞湾の環境再生へ向けた 住民参加型の干潟再生体制の構築

① 英虞湾の環境悪化の原因

- 周辺域からの生活排水の影響
- 真珠養殖からの汚れの影響
- 干拓による干潟の減少

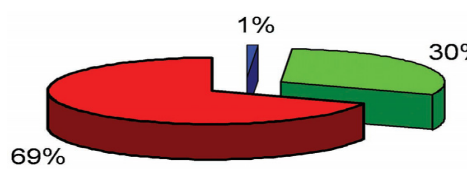


英虞湾では、周辺域からの生活排水と真珠養殖の影響によって海への汚れが増加し、干潟の干拓の影響によって海の自然浄化能力が減少しています。その結果、自然浄化能力を超えた汚れが湾内にたまり、**赤潮**や**貧酸素化**のような環境悪化を引き起こしています。

② 英虞湾内の干潟の変化



英虞湾では、江戸時代以降70%以上の干潟が、農地確保等により干拓され消失しました。しかし、現在消失干潟の85%以上は、休耕地となっています。



【現存する干潟】

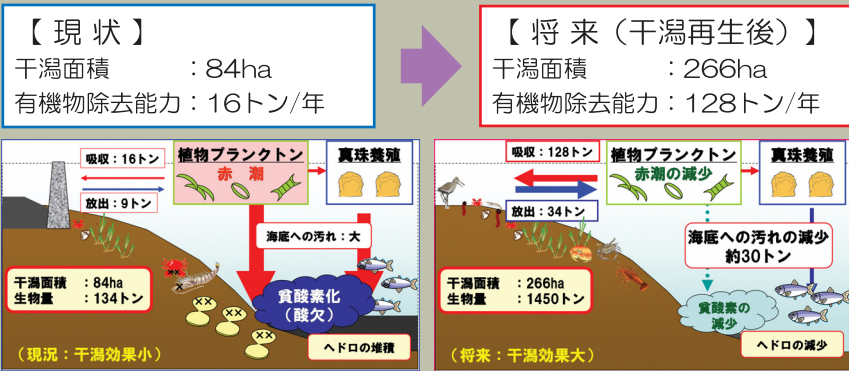
- 河口干潟： 3ha
- 前浜干潟： 81ha

【消失した干潟】

- 消失干潟：185ha

③ これまでの研究成果

① 沿岸休耕地の干潟再生効果の検証（数値モデル）



これまでの研究結果により、干潟を再生することで、生物が回復し、その結果、海の自然浄化能力が増加して**赤潮**の発生が抑制されます。さらに海底への汚れの沈降を軽減でき、**貧酸素化**の抑制につながる事が分かりました。

② 海水導入による干潟再生技術



昔干潟であった沿岸休耕地に海水を導入して干潟を再生する実証実験を実施しました。（英虞湾杓浦）その結果、徐々にアサリやエビやカニなどの生物が回復してくる事が分かりました。

④ 干潟再生事業の目的

地域住民のみなさんと行政、研究機関が連携して、干拓によって失われた干潟を豊かな生物が生息する干潟に再生します。干潟において、アサリの放流や海草（コアマモ）の移植、環境学習などの再生活動を地域住民のみなさんで行うことにより、干潟再生の大切さを知っていただき、継続的な活動基盤を構築します。

● 干拓で失われた干潟の再生（海水導入）

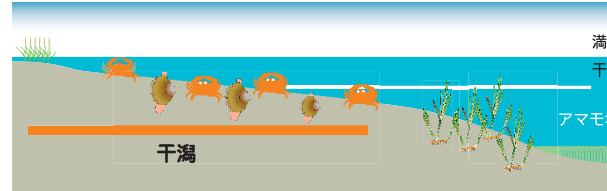


● 地域住民のみなさんと協働した干潟再生活動

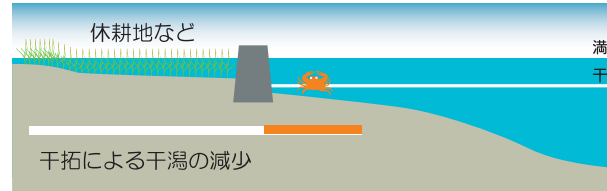


英虞湾全体の干潟再生活動へ展開

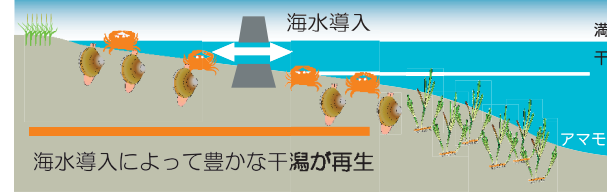
● 昔の干潟



● 現在の干潟



● 将来の干潟



⑤ 干潟再生事業の概要

湾奥部の昔干潟であった場所（志摩市阿児町立神字石淵）をモデル海域として、海域とを分断している堤防の水門を解放し、海水を導入を行うことで干潟を再生します。干潟では、アサリの放流や海草場造成等の再生活動を地域住民のみなさんと連携して行います。この活動は三重県水産研究所が中心に、英虞湾自然再生協議会と協力して実施します。今後これらの活動が継続し、英虞湾全域の干潟再生活動に広がっていくことを期待します。

